

## 蠟梅 Now

第 125 代明人天皇陛下が 4 月 30 日に退位し、皇太子徳仁親王が 5 月 1 日に新天皇に即位した。天皇の譲位は 202 年ぶり、陛下は「上皇」に、美智子さまは「上皇后」となった。

憲政史上初めての譲位で、2016 年に健康上の理由から公務執行に不安が生じることを懸念し譲位を示唆、皇室典範特例法に基づいて皇位の継承が行われた。

伴って、本年 5 月 1 日に元号が「令和」に変更された。令和の典拠は万葉集で、引用文は、「初春令月、気淑風和、梅披鏡前之粉、蘭薫珮後之香」。現代語訳は、「時あたかも新春の好き月、空気は美しく風はやわらかに、梅は美女の鏡の前に装う白粉のごとく白く咲き、蘭は身を飾った香の如きかおりをただよわせている」

世の中を平和にさせる、という穏やかな印象に溢れており、世界が調和され、平和が永遠に達成されるというメッセージが込められているという。雅な響き・・・！

日本の古典が初めて元号の典拠となったことは「画期的」と受け止められており、新元号「令和」を外国政府に英語で説明する際、つづりの「R・E・I・W・A」と併せて「Beautiful Harmony=美しい調和」という趣旨が伝えられる。

ポピュリズムが蔓延り、情勢が不安定な地域では、どうしてもきな臭い気配を打ち消せない状況が続く。世界が遍く Beautiful Harmony で満たされることを願う。

閑話休題。

当法人のシンボルツリー「蠟梅」は、04 年に法人を立ち上げた折、記念に植樹したもので、15 年が経過した。地味が悪く土壌改良等の施策を講じてきたが捗々しい成長がみられず、適切な管理と手厚い保護があつて小振りながらも逞しく生きてきた。

1 月初旬の開花後も例年の如く順調に経過し、子孫繁栄の結実に抜かりはない。6~7 個の小豆に似た種子を含む 5cm 程度の糞虫まがいの果実を多くつけている。

11 年 11 月誕生した実生による二世の一株は、生誕の地西神から筆者宅に移植したものの、昨年、甲斐虚しく枯らせてしまった。別の株を貰い受けて移植したが、暑い時期には避けた方がよかったと知り、気を揉んでいるところ。



親子の近影

### 《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸  
事務局長 大森 信

〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町 4-2-7

TEL&FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)

E-mail : info@npo-ftfk.or.jp

URL : <http://www.npo-ftfk.or.jp>